



学生近況報告

6年次の近況報告

我喜屋 亮太 (6年次)

「国試全員合格」皆がんばろう！

こんにちは。6年の我喜屋亮太です。何度か記事を書かせて頂いた南風への投稿も学生としては今回が最後となるので少し寂しいですが、お付き合いいただけたらと思います。

さて、近況報告ですが私たちは9月の末にクリニカルクラークシップが終了し、ポリクリと合わせて計68週の実習が終了しました。実習週数といいますと、2023年以降米国の医師国家試験を受験する際に必要な国際認証をとる為に必要であるとされた72週ルール（一説によると医学部過程の60週程度で良いという話もある）があり、全国の大学で実習の質・量共に向上しようという機運もあり、現在の下級生たちの間では授業の前倒しが始まり、実習期間がより充実することになるかと思えます。

さて、私自身の実習の感想ですが、終わってみるととても楽しかったなという印象です。（実習中に何度も同級生には助けられ、迷惑もかけてきたことを少し棚上げにします）

ポリクリでは大学病院の特徴であるメジャーからマイナーまですべてそろった環境で高度な症例をすべての科で2週ずつ実習しました。各科において学んだこと、感じたことは非常に多く、割愛させていただきますが、初期研修医の先生方には朝から夕までついて回り来年から自らが行わないといけない仕事を見学や体験でき、上級の先生方からは回診中やカンファ、講義などを通して医学知識を教えてくださいました。

クリクラでは自由選択の元、希望する診療科を1か月単位で回りました。クリクラでは「ポリクリで一通り学んできたよね？」というプレッシャーの元、手技や任されることの範囲も非常に大きくなり、またやりがいがとてもありました。

実習時に比べて知識も少しは身に付いた今となってはもう一度実習したらもっと学べることが多いのだろうなと思ったりもしますが、卒延したいという意味ではありません。

そして先日、総合試験を終えました。現在の琉球大学の卒業試験は全科を試験範囲とした総合試験を9月上旬に200問、11月上旬に300問の計500問(5日間)にて行います。6割を合格ラインとするととなっているため、優秀な人は日に日に楽に、ボーダーラインの人は（私を含む）毎日が正念場となる戦いとなります。国家試験と異なり、絶対評価であるため学生間に争いの雰囲気はなく、むしろ情報共有や声掛

けなどが活発に行われていました。

実習もなくなったため、同級生や後輩と会えるのは図書館や売店など校内の限られた場所しかなく、少しさびしいです。そういえば高3の大学受験の時もセンター試験に怯えているうちに気付いたら卒業していたな、とふと思い出しました。高校を卒業した後もたくさんの友達と遊んだりするのですが、やはり長年会っていない人もいますし、もしかすると一生会わない人もいるような気がします。

30期は仲が良いのだと勝手に私は思っています。試験後の飲み会も、なんだかんだ70名程度は集まります。6年間は長かったため、皆がいて当たり前な毎日でしたが、来年からは病院も異なり、県外に出ていく人もそれなりにいます。

この前の同窓会主催の評議会（あらゆる期の先生方と学生代表があつまり話し合いをする場）に参加した際の、何期も上の先生方のお言葉を引用させていただきますと、「私たちがこの年になっても感じるのは、同期の結びつきの強さ。長年会ってなくても会ったらすぐに昔に戻れるし、なんといっても医師という同じフィールドに立って働いている仲間。戦友みたいなものだから、すごく頼りになるし助けられている。だからまずは同期生を大事にしてほしい」ここが、高校の卒業とは少し違うなと感じました。

県内組はもちろんのこと、県外に行く人たちとも、一緒に働いたり、学会だったりいろいろな場で会ったり、人伝えで活躍を感じる日も来るのだなと思うと、ワクワクしてきました。

同期のみなさん、いままでありがとう。これからもよろしく。

ということ伝える為にこんなに長くなってしまいました。

もちろん先輩の皆さまも後輩の皆さんも大好きですよ！

あとは国家試験のみですね。来年みんなで働きたいから、国試全員合格以外に道はないのだと思います。ということで皆がんばろう！

というよりお前が頑張れよって言いたい人が大多数だと思いますので、僕も勉強頑張ります。

